

〔編 集 後 記〕

予定より遅れたものの『社会科学ジャーナル』27号(1)を年内に発行することができた。多彩な分野からの力作を得て当研究所の学際的、国際的特質をよく示す号となったと思う。執筆者の皆様にお礼申し上げたい。また、本号には当大学に客員教授としてお出でくださっているシェルドン・S・ウォリン元プリンストン大学教授の講演記録を掲載することができた。編集担当者としては大きな喜びである。

懸案の Working Paper も今秋より公刊の運びとなった。これによって当研究所の活動も一層活発なものとなることであろう。その成果が『社会科学ジャーナル』誌上に続々と登場する日も近い。

(高澤 紀恵 記)